

茨城県生協連ニュース 臨時号 No.51

茨城県豪雨災害復興関連情報 がんばろう！

2015年12月26日 発行:茨城県生活協同組合連合会 水戸市梅香 1-5-5JA会館分館 5F 電話 029(226)8487

NPO センター・コモンズが中心になって運営している[たすけあいセンター「JUNTOS」](#)は、食事会やサロン活動を通じた住民同士が話し合う場づくりを進めています。その一つとして「ぬくもりのバトン」をつなげる活動を始めました。

電気毛布を配って、一人一人の声を集めています。その声を紹介します。

①9月10日から今までどのように過ごしてきましたか

- ・数日、水に浸かった品々、家、何もかもダメ、涙さえ出なかった。9月10日より避難所生活。工事中の自宅と避難先を往復しているだけ。
- ・9月10日につくばの避難所へ行き、その後親せき宅へお世話になり、長引くことが分かったので、両親は壊れたままの家で、子供と私たちはとりあえず小さな部屋を借りました。今現在もその状態です。
- ・あすなろへ13日に避難(手をケガしたので)。家族と小絹へ行くが骨折してしまい家族にすまない気持ち。病院へはボランティアに送迎してもらった。自宅は1月中旬から大工が入る。
- ・避難所と自宅を雨の日以外、毎日毎日往復して家の中の片付けと家のまわりのガレキなどの片付けをしていました。私、何をしているんだろうとふと手を止め、悲しい毎日を送ってきました。東北の被災者の気持ちが少しわかったような気がする。

②生活はどこがどう変わりましたか

- ・家で毎日忙しく3か月たったのに何も変わっていない。
- ・家族がバラバラになり、何もかもなくし、一人になり、話し相手もなく、寂しい夜を過ごすことになりました。何となく不安です。
- ・人間的に皆様や自分も暗い毎日の暮らし送る。顔で笑って心で泣く人が多いことがよくわかりました。
- ・一変の一語に尽きます。
- ・かわいがっていた犬が死んでしまい、何でと思うことが多くあります。何で私だったんだろうとか、何が悪かったのんだろうと思う事だらけです。

③うれしかったこと、つらかったことはなんですか

- ・体育館では被災者どうしのあいさつ、助け合いなど今までの人生で最も心に残るいい体験をしました。又辛かったことを言えば、一人一人の気持ちを知りその人に合わせないと生活ができないことです。
- ・近所のつながり、人とのつながりのありがたさ、の反面冷たさも。市役所でも事務的だし、職場でも他人事、わからない人にはわからないのだろう。
- ・ボランティアさんの温かい接し方非常に嬉しかった。
- ・一人身の中避難所で知り合い家庭的家族的な出合いがうれしかった。

④今回学んだことや教訓はどんなことですか

- ・人に助けられる有難さと難しさ。人様のご厚情が身に染みました。今後、反対の立場になったときは進んで、率先して、力を貸してあげたいです。
- ・いつもの備えをしておくこと。家族の絆が大切。
- ・人間らしい心。思い遣りです。一番大事なことは。
- ・洪水が起きそうになったときは油断しない。早めに災害に備えて準備する。

⑤今後のことで考えていること、悩んでいることはなんですか

- ・老後のためにとっておいたお金は全部家の修理にかかってしまいました。この先のことを考えるとどうしていいのかわか

りません。

- ・今回リフォームしたが、高台に家を買う人もいる。このまま住んでいて大丈夫だろうか。
- ・大雨と聞くとすごく不安になる。
- ・県営住宅も2年しかいられないので市営住宅に入りたいのですが入れるかどうか心配です。
- ・帰ってからのこと。家がまわりにポツ・ポツとなった。こわしてしまって。これがこわい。ひとりぼっちになる。買物が遠い。

⑥まちやくらしの再生、復興で必要なことはなんだと思いますか

- ・住民同士のコミュニケーションがとれるようになればいいとおもいます。
- ・若い人たちが常総市から他の市町に出ていくのを聞くととてもさびしいです。
- ・再生には、やはり改修するための資金。被害の程度の差があるが、被害の大きい家では再生するため常総市外に転移しないような対策を考えてほしい。
- ・人が集まるような大きな事業を誘致して活気ある町にすることで復興につながると思います。常総市に住んでいるメリットを感じたいです。
- ・再生は町の中に、むずかしい事だが、映画館を作る事と町の中とその近くを大型バスではなく10～15人位乗れるバスを30分～1時間の間に一本位走らせる事も必要と思う。

⑦行政に望むことはなんですか

- ・私達はいままでしまった税金をはらうため一生けんめい働いてきました。これからは安心して生きていけるようにしてほしいです。
- ・また洪水がおきないようにしてほしい
- ・いろいろな情報は被災地全体に届くように
- ・今後同じような事があった場合、避難指示や支援制度を私たちに早く正確に伝える方法を考えてもらいたい。宣伝カーを出すとか、町内会の中で、連絡する人を数人決めておくとか。

⑧市外の人たちへのメッセージをお願いします

- ・顔で笑って心で泣く常総市の皆さんの気持ちです。
- ・必要なもの、必要な作業をきちんとみんなの声をきいて行動してほしい。
- ・全国からのボランティアさんに手伝っていただいて大変助かりました。有難うございました。
- ・災害にあわれなかった人達から他人事と思ってほしくないです。

以上

<お問い合わせ>茨城県生活協同組合連合会(担当 古山・鈴木・原)TEL 029-226-8487 Fax 029-224-1842

Mailibkenren@ibaraki-kenren.coop

以上